

第8回 海岸勉強会メモ

日時:平成20年8月7日(木)

19:00~21:00

会場:住吉公民館

[参加者]

- ・一般の方：19名
- ・行政担当者等：29名（宮崎県：河川課・港湾課・宮崎土木事務所・中部港湾事務所、
国交省：宮崎港湾空港整備事務所・宮崎河川国道事務所、宮崎市：土木課）

(1) 前回までの宿題返し

- ・離岸堤付近の台風前後の地形、トンボロの効果（宮崎土木事務所）
- ・港湾で沖捨てを実施した箇所の水深、理由、沖捨て量。
- ・港湾の維持浚渫を実施した年月日[マリーナ浚渫]
平成18年度3回
H18, 4, 10~H18, 4, 23 H18, 7, 3~H18, 8, 8 H18, 11, 4~H19, 1, 16
平成19年度4回
H19, 4, 9~H19, 4, 24 H19, 9, 29~H19, 10, 24 H19, 12, 17~H19, 12, 21
H20, 3, 11~H20, 4, 15
- ・港湾区域の現在の等深線。（平成15年港湾計画改訂時の等深線図面）
- ・港湾の費用対効果（県港湾課）（中部港湾事務所）
建設費用 昭和31年~平成19年 約1400億円
（うち昭和31年~昭和47年 約25億円）：港湾計画昭和48年
効果 港湾の経済効果は、算出が困難となっている。

【質疑応答】

離岸堤関係

- ◇ トンボロは、養浜を続けないと維持できないのか。
→離岸堤周辺の砂の収支（侵食と堆積）バランスがとれれば、維持できる。
- ◇ 沈下には、パイピングが考えられないのか。
→可能性がないとは言えない。前後侵食による沈下も考えられる。
- ◇ 設置してからの沈下量を教えて欲しい。
→2基目は、平成17年の台風で-2mまで下がり、平成19年に嵩上げを実施しており、現状において沈下はない。4基目はH14年に設置しており年間0.3m、6基目はH16に設置しており0.4m沈下。

港湾関連

- ◇養浜した砂がすぐながれてくるのではないのか。
→H18、H19の浚渫及び離岸堤養浜の時期をペーパーにまとめる。

- ◇ 港湾事業費の国県の負担は
→国・県・市の負担割合は概ね5：4：1である。

【次回以降の予定等】

- ・第8回勉強会は、平成20年9月9日（火） 住吉公民館 19:00～
- ・テーマは、①植生の話（参加者の方より説明）
②防潮林の話（説明者は県内部で調整する）
- ・勉強会の今後の進め方について一度話す機会を持たせていただきたい。（司会）。
- ・侵食対策方法についていろいろなアイデア、工法などを提案する機会を設けたらどうか（参加者）